

第3回奈良市子ども条例検討委員会の概要

開催日時	平成24年5月31日（木）午後3時から午後5時まで
開催場所	奈良市役所中央棟5階キャンベラの間
議 題	1 ワークショップ実施内容について 2 出前実態調査実施方法について 3 アンケート調査について 4 その他
出席者	出席委員5人（欠席委員1人）・事務局17人
開催形態	公開（傍聴人0人）
決定事項	<ul style="list-style-type: none">・ワークショップでは、子どもの現状や課題を把握し、奈良の未来や将来についての夢や理想を聞きだす場にする。・出前実態調査は、課題抽出型ではなく、ワークショップと同じような内容を聞く。・アンケート調査については、学校配布の親子アンケートと17歳の子どもアンケートと無作為抽出の大人アンケートの3つを実施する。
担当課	子ども未来部子ども政策課
議事の内容	
<p>1 ワークショップ実施内容について</p> <p>事務局からワークショップの実施内容について説明し、意見を求めた。</p> <p>委員からアンケートの結果が、ワークショップのどのあたりになるのかという質問があり、これに対して事務局は、学校教育課で実施の学習調査は8月に中間報告が、教育政策課実施の教育ビジョンに関するアンケートの結果が9月以降に出てくると回答した。</p> <p>委員からワークショップについて、子どもたちに問題点や大人に言いたいこと、不満など言いたくても言えなかった事や奈良の未来や将来への夢や理想ついて聞いていくのがよいという意見が出た。また、子どもたちの現状や課題をはっきり子どもたちから聞き、子どもと大人はパートナーであるというようなビジョンを明確にした形でやるという意見が出た。</p> <p>委員からワークショップを実施するにあたり、子どもたちに子ども条例の下地をつくるための集まりだとは知らせないのかという質問があり、それに対して別の委員から、はっきりと位置づけを言っておいたほうが、責任感を持って関わってもらえるだろうという意見が出た。</p> <p>ファシリテーターからの要望に対して、ワークショップを検討委員会で決めた方向性に合わせるものではないという意見が出た。また検討委員会が最も聞きたいことという意味であるならば、再度確認するとした。</p> <p>ワークショップを子どものエンパワメントの場、大人と子どもが信頼関係を築き、それを発信できる場、子どものアイデアが奈良の未来のまちづくりに活</p>	

かせる場にしたいという意見が出た。

今回の意見をワークショップに反映して、実施することを確認した。

2 出前実態調査実施方法について

事務局より出前実態調査の実施について説明し、意見を求めた。

事務局から各施設の簡単な説明をした。

委員から **NPO** や親の会やひとり親に聞くのはよいという意見が出た。

インタビュー項目について、委員から施設によって聞く項目が違うという意見があり、それに対して基本はワークショップで聞く内容と同じでよいのではないかという意見が出た。

インタビューについては、課題抽出型ではなく、ワークショップと同じような内容を聞くこととなった。

次回にインタビュースケジュール案を出すこととなった。

3 アンケート調査について

事務局よりアンケート調査について説明し、意見を求めた。

委員より 9月になっても実施し、親子アンケートもするべきという意見が出た。また大人アンケートも時期がずれてもやるべきという意見が出た。

アンケート調査については、学校配布の親子アンケートと 17 歳の子どもアンケートと無作為抽出の大人アンケートの 3つを実施することとなった。

4 その他

広報の仕方について、ワークショップやアンケートをしてから広報するのではなく、途中でも市民全体に伝えていったほうが良いという意見が出た。